

顔眞卿後裔移動一覽二稿

宮 崎 洋 一

筆者は、拙稿「顔眞卿の子孫について」¹⁾（以下、「初稿」と呼ぶ）の中で、目録などを利用して、顔氏の家譜²⁾ 87種を収集して地域ごとに整理した上で、国内で確認できる史料を用いて顔眞卿の子孫の略系圖を提示した。

その後、家譜や古籍の総合的な目録が出版されて、家譜全體を見渡す状況が一変したことを承けて、拙稿「顔氏家譜一覽二稿」³⁾（以下「家譜二稿」と呼ぶ）において249種の顔氏の家譜を収集し、また別稿「顔眞卿後裔略系圖二稿」⁴⁾（以下「系圖二稿」と呼ぶ）において、顔眞卿の子孫の系圖を示し、初稿を補訂した。本稿は、系圖二稿で整理した子孫について、基づいた史料を基に世代ごとにその居住地を整理し、初稿で指摘した、顔眞卿を廟神として祀る顔魯公祠の所在地との關係を、改めて考えようとするものである。

付表1「顔眞卿後裔略傳一覽」は、家譜二稿と系圖二稿に整理した顔眞卿の子孫にのうち、特に居住地の記載のある人物を、世代ごとに整理したものである。この整理に基づいて、さらに、住んでいた地域を現在の地名によって、世代ごとに整理したものが、付表2「顔眞卿後裔分布表」である。この2つの表の整理により、顔眞卿の子孫は、はじめ江西省、湖南省、福建省、山東省、江蘇省などに多く住み、續いて湖北省、廣東省、浙江省などにも廣がったといえるだろう。

初稿、家譜二稿、系圖二稿のいずれでも指摘した通り、主に家譜を用いた本稿の検討には様々な限界があり、結論には多くの問題がある。しかし、宋代以降、繼續して顔眞卿の子孫が多く住んでいたとされる地域に湖南省や福建省が入っていることは注目して良いと思う。

そして、拙稿「顔魯公祠一覽稿」⁵⁾で宋代以降の總志と清代の通史を用いて検討した顔魯公祠の所在地と比較して考えると、次のようなことが言えるであろう。

- ・子孫の住んでいた地域で祠が多いのは、江西省である。このため、宋元などの、比較的早い時代に創建された顔魯公祠は、その創建に子孫が関わっていた可能性がある。ただ、顔魯公祠と子孫の關係を記す史料があるのは、これまでの収集では、山東省費縣⁶⁾と浙江省温州⁷⁾のみである。

- ・祠の多い浙江省や山東省は、子孫は必ずしも多くない。
- ・特に明代以降、湖北省・湖南省に住むようになった子孫が多いが、顔魯公祠は必ずしも多くない。
- ・拙稿「顔魯公祠一覽稿」で用いた史料では、福建省・廣東省には顔魯公祠が書かれていなかったため、この2省に広がっている子孫の場合には、顔魯公祠の創建にはほとんど関係しない。

早くから子孫の居住地と顔魯公祠の所在地が一致する場所は、江西省吉安、江蘇省句容・南京、浙江省湖州・温州、など多くない上に、その創建の中心に顔氏が関わっていることは確認できなかった。顔魯公祠を立てて顔眞卿を顕彰していたのは、一部の祠では、顔眞卿の子孫であった可能性はあるが、多くの場合、子孫以外の人々である。顔眞卿に対する、廣範囲にわたり、この後長い間續く顕彰の中心は、顔眞卿の子孫ではなかった。そして、この結論は、家譜二稿、系圖二稿、そして本稿によって、初稿を増補してきたが、初稿の結論に大きな変更は無いということである。

注

- 1) 追悼記念論叢編集委員會（代表奥崎裕司）『山根幸夫教授追悼記念論叢明代中國の歴史的位相』下、汲古書院、東京、2007年6月、pp. 409～425。
- 2) 史料の書名には、家譜の他に、族譜、宗譜、家乘、總譜、通譜、世譜、支譜、祖譜、などが用いられているが、本稿では、家譜で統一する。
- 3) 『文教國文學』第61號、2017年2月、pp. (1)28～(15)14。
- 4) 『文教グローバル』第7号、2023年2月刊行豫定。
- 5) 大連外國語學院日本文化研究中心編『日本文化研究』第2集、大連理工大學出版社、2001年3月、pp. 441～465。
- 6) 付表1「顔眞卿後裔略傳一覽」の第51代の顔安上の項。
- 7) 前掲の拙稿「顔魯公祠一覽稿」の注17) で指摘した『(雍正) 浙江通志』卷225「祠祀」九「温州府永嘉縣」。

(本学教授)

付表1 顔真卿後裔略傳一覽

凡例

- (1) 本一覽は、家譜二稿の「顔氏家譜一覽」と系圖二稿の「顔真卿後裔略系圖」で整理した顔真卿の子孫のうち、特に居住地の記載のある人物を中心に、世代ごとに整理したものである。
- (2) 家譜二稿・系圖二稿と同様に、世代数は顔真卿を第40代とする
- (3) 後掲付表2「顔真卿後裔分布表」に整理した居住地・移住地には、 を付した。もとの史料に記載が無く新たに加えた省名や現代の地名は（ ）で示した。
- (4) 地名は、主に、
譚其驥主編『中國歷史地圖集』全8冊、地圖出版社、1982～1987年
地圖出版社編制『中華人民共和國分省地圖集』第5版、地圖出版社、1992年
を用いて整理した。
- (5) 基づいた史料は下記の通りである。各書の後ろの〔 〕内はこの付表で用いる略稱と記載箇所を示し方である。
 - ・石田肇「南宋初期の顔氏と顔真卿評價—自書告身をめぐって—」『書論』第27號、1991年、pp. 108-116（→姚宇亮漢譯「南宋初期的顔氏和顔真卿評價—以《自書告身》爲中心」『書畫世界』2015-5（總171）、pp. 24～27）〔石田肇 [1991]〕
 - ・黃宣民點校『顔鈞集』中國社會科學出版社、1996年〔顔鈞集 [1996] 頁數〕
 - ・顔普元『顔氏家學與風徽』岳麓書社、1999年〔顔普元 [1999] 頁數〕
 - ・新編《陋巷志》編纂委員會編『新編陋巷志』齊魯書社、2002年
第三篇第一章第四節「部分外徙後裔概況」〔陋裔、通し番號と頁數・左右〕
第三篇第二章「譜牒」〔陋譜、通し番號と頁數・左右〕
 - ・段志凌「新出唐《顔涼墓志》考略」『文博』2014-2、pp. 47～50〔段志凌 [2014]〕
 - ・家譜二稿の「顔氏家譜一覽」〔家譜一覽 地域〕
 - ・拙稿「プリンストン大學所藏『顔文忠魯公文蹟』について」『汲古』第73號、2018年、pp. 19～26〔宮崎洋一 [2018]〕

41

元浩：常山（浙江）から閩に入る、柘浦（今浦城縣）の南に居す（陋裔50・154頁左）。
庀：河南温縣に居す（陋裔47・144頁右）。

42

淙・知權・邊：（段志凌 [2014]）。
淙（琮）・璋（璋）・湘・昭：ともに江蘇南京に居す（顏普元 [1999] 159頁）。
景茂：福建閩侯の縣令となる（陋裔47・144頁右）。

43

弘本・鈞：（段志凌 [2014]）。
弘（宏）式：穎の孫（顏普元 [1999] など）。または碩の孫（陋裔01・119頁右）。
芳：福建 德化泗濱の始祖（陋裔47・144頁右）。

44

詔（宗魯）：872～946年。唐代後期、「魯南」から江西永新に移り、子孫は呉楚の間に散居した（「家譜一覽」四川安岳、江西永新・蓮花、湖南桂陽・湘潭・寧鄉。顏普元 [1999] 108・159頁）。

翊：唐代後期、「魯南」から江西永新に移り、ついで廬陵（江西吉安）の薊城に遷る。子孫は呉楚の間に散居した（「家譜一覽」湖北沔陽、湖南安鄉・岳陽・武岡・邵東・邵陽・祁陽・益陽・麻陽・婁底・湘潭・隆回・新邵・寧鄉・漣源。顏普元 [1999] 159頁。陋裔61・162頁右。陋裔62・163頁右）。

翺：唐代後期、「魯南」から江西永新に移り、子孫は、呉楚の間、湖南邵陽、湖北蒲圻に移る（「家譜一覽」湖南安鄉・沅陵・常德・湘潭・寧鄉・溆浦。顏普元 [1999] 159頁、陋裔32・135頁左）。

君傑：山東 臨沂に歸る（陋裔01・120頁左）。

虬松：江浙をへて閩に入り、950年（福建）政和縣に居す（「家譜一覽」福建政和。陋裔50・154頁左）。

濬：河南に歸る（陋裔47・144頁右）。西京路襄州に歸る（陋裔48・148頁右）。

潤：南劔州、いまの福建大田縣に住む（陋裔47・144頁右）。始溪に住み始める、劔州に屬す（陋裔48・148頁右）。

瀚：福建 永春縣に住む（陋裔47・144頁右。陋裔48・148頁右）。

裴（斐）：福建 德化東山に住む（陋裔47・145頁左。陋裔48・148頁右）。

雅：福建 德化に住む（陋裔47・145頁左。陋裔48・148頁右）。

歸：福建 德化に住む（陋裔47・145頁左。陋裔48・148頁右）。

45

諶之（玠）・諶之（璘）：江西より江蘇南京に歸り、子孫は南京に居す（顏普元 [1999] 108・159頁。陋裔32・134頁左）。

獻之（璉）：江西永新に住む（陋裔32・134頁左）。

誠之：（「家譜一覽」江西永新）。

誦之（禹）：910～975年（顏普元 [1999] 108・159頁）。

儼：宋太宗の淳化年間の進士、(江西) 永新沙田に住む(陋裔32・134頁右、「家譜一覽」湖南武岡・隆回)。

興(光先)：宋の開寶年間(968～976年)に廬陵(江西吉安)の薊城に移り、廬陵・(江西)吉水の兩所の公祖となる(陋裔32・134頁右)。宋の咸平年間(998～1003年)に廣東南海鹽步顏邊村に入る(「家譜一覽」廣東南海。陋裔61・163頁左。陋裔62・163頁右)。

洎：福建に入った始祖(陋裔48・151頁左。陋裔53・157頁左。陋裔62・163頁右)。

46

興(嶼)：江西永新に住む(陋裔32・134頁左)。湖南茶陵に遷る(顏普元[1999]159頁)。

恭(珪)：(山東)平原に遷る(顏普元[1999]108頁、陋裔32・134頁右)。

竣：太平興國年間、江西永新搗石に居す。子孫は(江西)安成西南郷と湖南醴陵・瀏陽などの地に散居する(顏普元[1999]108頁。陋裔32・134頁右)。

嶽：940～1023年。太平興國年間(976～984年)、江西永新搗石から永新北郷中陂に遷る(顏普元[1999]108頁。顏鈞集[1996]101・117頁。陋裔33・136頁右。「家譜一覽」江西永新)。

珩：建昌府瀘溪(江西資溪)に遷る(顏普元[1999]159頁)。

炳德：(湖南)湘潭・茶陵などに遷る(顏普元[1999]159頁)。

瑛：(湖南)湘潭・(湖北)漢口などに遷る(顏普元[1999]159頁)。(江西)吉水瀘源に遷る(「家譜一覽」湖南寧郷)。

德容：(廣東南海)鹽步顏邊村に居す(陋裔61・163頁左)。

雄：五代の時に(福建)德化上顔に行く(陋裔47・145頁左)。德邑西顔に住む(陋裔48・148頁右)。

仁郁：歸德場長官(陋裔47・145頁左。陋裔48・148頁右151頁左。陋裔55・158頁左。陋裔62・164頁左)。

仁賢：五代の時、(福建)安溪三卿となる(陋裔48・151頁右。陋裔55・158頁左)。

仁貴：(福建)永春始安里山後に居す(陋裔48・151頁右152頁左。陋裔53・157頁左)。

47

禛：(江西)沙田に移る(陋裔32・134頁左)。

箴：(江西)沙田から湖南茶陵に遷る(陋裔32・134頁左)。

元晉(天一)：太平興國元年(976年)、江西永新から(湖南)衡陽石壁に遷る。後裔は(湖南)衡山・新化・岳陽・渣江・攸縣・醴陵・瀏陽・益陽・茶陵・汝城・雲南・貴州、福建、臺灣、廣東清遠に分布(「家譜一覽」湖南桂陽・湘潭・衡山・衡東・衡陽、四川安岳。陋裔40・141頁左)。

元道：(「家譜一覽」湖南攸縣)。

穆：971～1049年(顏鈞集[1996]101・117頁)。

玉：(江西)永新里田に住む(「家譜一覽」江西永新。陋裔32・134頁右)。

頤：金陵(江蘇南京)に歸る(陋裔32・135頁左)。

明：白石に居し、子孫は(江西)沙田に分かれる(陋裔32・135頁左)。

德：薊城先生と號し、子孫は江西廬陵(吉安)に住む(陋裔32・135頁左)。

衡：(江西)廬陵(吉安)薊城から(江西)吉水瀘源に移る(陋裔32・135頁左。陋裔34・136頁右)。

必正：(福建永春)達埔に居す(陋裔48・151頁右152頁左)。

必和：(福建永春) 達埔に居す。宋初、(福建) 同安浯江(金門)に遷る(陋裔48・151頁右。陋裔52・154頁右)。

48

子春：1022～1084年(顔鈞集 [1996] 101・117頁)。

怡：(江西吉水) 瀘源に居す(陋裔34・136頁右)。

恪：湖南潭州(長沙)に移る。顔頤仲はその子孫(陋裔34・137頁右)。

日輪：北宋の時、(江蘇) 句容虎耳山から(江蘇) 溧陽黄金山に遷る(「家譜一覽」江蘇溧陽)。

鼎：(福建) 永春桃源達埔に居す(陋裔48・151頁左)。

48□：(福建) 石獅市・晉江市に居す(陋裔48・151頁右152頁左)。

禱：父に随って(福建) 永春から銀同浯州(金門) 賢厝に遷り、卒して金門に葬られる(陋裔52・155頁左)。

49

福遠：1042～1102年(顔鈞集 [1996] 101・117頁)。

度：湖南寶慶(邵陽)に移る(陋裔39・140頁右)。

50

如魯：湖南攸縣上雲橋に移り住み、上雲橋の始祖となる(陋裔32・134頁右)。

宗魯：1066～1130年(顔鈞集 [1996] 101・117頁。「家譜一覽」江西永新)。

如經(如徑?)：江西豐城泥都に移る(陋裔39・140頁右)。

彥輝：(浙江) 温州。1135年下州文學となる(石田肇 [1991])。

沛：(福建) 德化西顔に住む(陋裔47・145頁左。陋裔48・148頁右)。

隣(麟)：(福建) 永春縣に住む(陋裔47・145頁左。陋裔47・148頁左。陋裔48・149頁左)。

礎：(福建) 永春から(福建) 漳州青礁(今属廈門海滄)に居す(陋裔48・151頁左。陋裔49・153頁左。陋裔58・158頁左。陋裔60・161頁左)。福建德化縣歸德里から龍溪縣青礁に移る(陋裔60・162頁左。陋裔62・163頁右)。

51

子貴：1102～1159年(顔鈞集 [1996] 101・117頁。「家譜一覽」江西永新)。

曉：(「家譜一覽」湖北陽陂・祁陽)。

能：宋代に、(江西) 吉水瀘源から(湖南) 寧郷田心へ移る(陋裔34・137頁右。「家譜一覽」湖南寧郷)。

鑄：(廣東) 南海大攬に移る(陋裔61・163頁左)。

高：(「家譜一覽」廣東南海)。

安上：(山東) 臨沂の西村に居す。知費縣事となり、1092年、費縣の顔魯公祠において、祭田地を枋河の東に買う(陋裔01・120頁左)。

岐：代々、浙江湖州に居す。南宋の高宗のとき廣東南雄縣に遷る。南海縣唐夏に分かれる(陋裔62・164頁左)。

52

進德：1118～1181年(顔鈞集 [1996] 102・117頁)。

璵：(廣東) 鹽步顔邊村に入る(陋裔61・163頁左)。

毅：1878年の史料に山東沂南に流寓して20餘代とあるので、このころまでに、外地から山東沂南に移っていたらう（陋裔02・122頁右。「家譜一覽」沂南）。

景哲：鳳陽府靈璧縣（安徽靈璧）に移る（陋裔01・120頁右。「家譜一覽」臨沂）。

53

允瞻：（「家譜一覽」湖南攸縣）。

岡：1141～1203年（顏鈞集 [1996] 102・117頁）。

謙：（廣東南海）唐夏から（廣東）從化縣顏村に遷る（陋裔62・164頁左）。

54

54□A：（福建）古田に遷る。のちに一部は（福建）寧德霍童に遷る（陋裔50・154頁左）。

54□B：（浙江）温州府管下に遷る（陋裔50・154頁左）。

利生：（福建）德化東山に住む（陋裔47・145頁左）。

拱達：廣東潮陽山栖郷（陋裔48・151頁左）。

州珥：先に（廣東）潮州に居し、のちに（廣東）潮陽東溪頭に移る（陋裔58・161頁左）。

54□C：（福建）政和縣から（福建）古田に遷る。のちに（福建省）寧德市霍童に遷る（陋裔55・158頁左）。

55

仕眞：庠生。子孫は江西永新沙田に居す（陋裔35・137頁右）。

仕弘（仕宏、開泰）：1165年、江西永新から梅洲（江西蓮花）に移り、梅洲の始祖となる（「家譜一覽」江西萍鄉。陋裔32・134頁右135頁右、陋裔35・137頁右）。

仕勉：1185年、江西吉安（府）蓮花梅洲から江西袁州萍鄉新泉顏家坊に移る。（「家譜一覽」江西萍鄉。陋裔35・137頁右）。

虞亮：宋の理宗年間に、岡州、今の（廣東）新會城顏家巷に遷る（陋裔62・164頁左）。

子賢：（廣東）南雄から（番禺縣）園下に遷る（陋裔62・164頁右）。

雲岩：岡州（今の廣東新會城顏家巷）から順德縣に遷る（陋裔62・164頁右）。

元初：（福建）大田縣に住む（陋裔47・145頁左）。

維魁：宋高宗の南渡に従って（福建）連江顏奇に居す（陋裔48・151頁左。陋裔49・153頁左）。

淳・一衷：（福建）漳浦に移る（陋裔52・155頁左右）。

56

子文：（江西）永新沙田から（江西）安福城内鐵冶巷に移り、安福の基祖となる（陋裔32・134頁左）。

廷熹：（「家譜一覽」湖北沔陽）。

永廣：（廣東）南雄から南海縣に遷る（陋裔62・164頁右）。

敏：明永樂年間に（福建）德化西顔に住む（陋裔47・145頁左）。

以和：（福建）同安（金門？）に移る（陋裔52・155頁左）。

一盛：（福建）漳州に居す（陋裔52・155頁左）。

57

侃如：宋光熙間に甲第。江西永新搗石雙乳峰下沙田から、（江西）永新西郷三根に移り、三根始祖となる。子孫は「吳楚」各地に散居（陋裔32・134頁右・135頁左。「家譜一覽」四川

安岳)。

孟四郎：(湖南) 衡陽石壁から木瓜山に遷る。「家譜一覽」湖南衡陽)。

三一ら：(安徽) 水東・(廣東) 廣州に移る(陋裔34・136頁右)。

均宰：湖南茶陵堯水水頭に移る(陋裔39・140頁右)。

唯善：(廣東) 茂名から電白縣に遷る。南雄から番禺縣園下に遷る(陋裔62・164頁右)。

貢：(廣東) 興寧に居す(陋裔48・151頁左。陋裔49・153頁左)。

同元(洞源)：涪州から(福建) 同安(金門?) 長興に遷り、後塘・荷爐の始祖になる(陋裔52・155頁左右)。

德泰：涪江から(福建) 同安(金門?) 東門外前街に遷る(陋裔52・154頁右155頁右156頁左)。

58

應才：1373年、江西吉安府安福から湖南湘潭黃泥鋪に遷り、姜畬の初祖となる(「家譜一覽」湖南湘潭)。

以光：子の源・涇・潛とともに、(江西) 泰和梅子坡に移る(陋裔34・137頁右)。

以盛：湖南益陽の西に居す(「家譜一覽」湖南益陽)。

遷：湖南岳陽・華容・巴陵に移る。子孫が再び(湖南) 湘潭株洲・善化(今の湖南長沙) 炭坡に遷る(陋裔32・135頁左。「家譜一覽」湖南岳陽・湘潭)。

文端：(「家譜一覽」廣東南海)。

重：子孫は順天府(北京)に住む(陋裔01・120頁右)。

全岡：(廣東新會城) 顔家巷から城外石狗嘴に遷る(陋裔62・164頁右)。

宏亮：岡州(今の廣東新會城顔家巷)から(廣東) 化州縣に遷る(陋裔62・164頁右)。

奎：(江西) 吉州永新の人(石田肇 [1991])。

外生：(福建) 南安に屯種する(陋裔48・148頁右)。

榮：(福建) 安溪縣蘭田鎮烏泥(紫泥)に居す(陋裔48・151頁左。陋裔49・153頁左。陋裔51・154頁右。陋裔58・160頁右)。

洙：(福建) 龍岩に居す(陋裔48・151頁左。陋裔49・153頁左)。

細治：福建永春から仙遊に遷る(陋裔48・152頁左。陋裔53・157頁左)。

59

道ら：汀州(福建長汀)・廬陵(江西吉安) 水塘・珠源・(江西) 吉安鐘樓・思州(貴州岑巒)・(湖南衡陽) 石壁・德安府(湖北安陸)・(江西) 南康にうつる。子孫は(湖北) 潛江・(湖北) 江陵に広がる(陋裔34・136頁右)。

涇：(江西) 泰和梅子坡に移ったのち、湖北公安へ移る。子孫が(湖南) 安郷に住む(陋裔32・135頁左、陋裔34・137頁右。「家譜一覽」湖南安郷)。

潛：江西吉安府泰和縣梅子坡に移ったのち、湖南湘郷(婁底市) 新化へ移る。後裔は湖南婁底・漣源・新化・新邵・冷水江・邵陽・隆回・武岡・洞口・寧郷・安化・湘郷・桃江・益陽・洞庭湖濱、湖北、四川、貴州、廣西、香港、澳門、臺灣に分布する(「家譜一覽」湖南邵陽・湘郷・新邵・漣源。陋裔32・135頁左、陋裔34・137頁右、陋裔38・140頁右)。

溥：始遷祖。咸淳元年(1265年)、江西永新縣から湖南寶慶邵陽東路梅塘謝家灣(今の邵東縣靈山郷)に住み、(湖南) 茅坪老屋に移る(陋裔37・140頁左、「家譜一覽」湖南邵東・四川三臺)。

清：咸淳元年(1265年)、江西永新縣から湖南寶慶邵陽東路梅塘謝家灣(今の邵東縣靈山郷)

に住み、洗馬橋光陂清潭などの所に住む。邵東洗馬橋龍窟頭の始祖となる。子孫は、邵東清潭・下馬石・顔家嶺・顔家屋・豊山・界嶺・廉橋・仁風泥塘・梅塘・南郷曹灣沖・顔家沖・早禾沖・湘潭銀時などの所に住む。(陋裔37・140頁左、「家譜一覽」湖南邵東・四川三臺)。

河：邵東洪塘に居す(陋裔37・140頁左)。

亞顯：廣東陽江に移る(陋裔61・163頁右)。

聰：(安徽)靈璧縣から沂州(山東臨沂)衛左所正千戸に移り、臨沂城南金雀山に葬られる(陋裔01・120頁右)。

元：山西太原知府にのぼり、山西に葬られた(陋裔01・121頁左)。

三甫：土派は廣西に廣がる(陋裔62・164頁右)。

仙蔭：(福建)東山に居す(陋裔48・148頁右)。

汗：福州古田縣昆山村に居す(陋裔48・151頁左。陋裔49・153頁左)。

槐：(福建)龍岩に居す。ついで廣東に分かれる(陋裔48・151頁左)。

貴來：(福建)平和縣に隱居した(陋裔48・151頁左。陋裔49・153頁左。陋裔58・158頁左。陋裔59・161頁左)。

琳：(福建)福清に廣がる(陋裔49・153頁左)。

59□：(福建)仙游縣に遷る(陋裔48・152頁左)。

60

?均秀：湖南桂陽支祖、明代人(族譜一覽・湖南彬州)。

政三郎(碧三、有松)：明代、木瓜山から(湖南)衡山東岸に遷る(「家譜一覽」湖南衡東・衡陽。湖南衡東は始祖祖とする)。

?有隆：湖南衡山の族譜の始祖祖とする(「家譜一覽」湖南衡山)。

詩：1395~1471年(顔鈞集[1996]102・117頁)。

戊二ら：思州(貴州岑巖)、(湖北)麻城、(山西)永和、廬陵(江西吉安)六渡・廬陵(江西吉安)石坑・江西泰和古城、(湖北)德安府應山縣、汀州長樂縣(福建長汀?)、永豐西(江西永豐?)、(廣東)廣州・惠州河源・水源寨、(江西)東固、(湖北)江陵・江陵介溪、(江蘇)徐州、光州(河南潢川)宅角河・燕山羊坑に移る(陋裔32・135頁左、陋裔34・136頁右)。

萬糧：遷湘(湖南)始祖。萬華とともに宋代の人(「家譜一覽」湖南湘郷)。

希文：子孫が(湖南)湘潭兩頭塘に遷る(「家譜一覽」湖南湘潭)。

秀可：(湖南)新化に居す(陋裔38・140頁右、「家譜一覽」四川三臺)。

秀道：湖南寶慶府邵陽縣(陋裔38・140頁右、「家譜一覽」四川三臺)。

秀均：(湖南)漣源に居す(「家譜一覽」湖南漣源)。

希仁：仁宗・理宗の時に、湖廣襄陽司に任ぜられ、子孫が湖北沔陽景陵に廣がる(陋裔32・135頁左、陋裔34・136頁右。「家譜一覽」湖北沔陽)。

希賢：湖北漢川顔家臺に移る(陋裔32・135頁左。「家譜一覽」湖北)。

師尹：江西泰和古城に移る(陋裔32・135頁左)。

聞心：(湖南)湘潭に遷る(顔普元[1999]160頁)。

文心：(湖南)湘郷に移る(陋裔39・140頁右)。

昭：靈璧縣(安徽靈璧)顔家沖に居す(陋裔01・120頁右)。

忠、斌：父聰の沂州（山東臨沂）衛左所正千戸をついだが、跡継ぎがなく、従兄弟の斌がつぐ（陋裔01・121頁左）。

世應：（廣東）新寧（臺山）に遷る（陋裔62・164頁左）。

世通：岡州（今の廣東新會城顏家巷）から英德縣に遷る（陋裔62・164頁右）。

世亮：（廣東）陽江縣に遷る。陽春縣に遷る（陋裔62・164頁右）。

文炳：（福建）漳州顏厝に居す（陋裔48・151頁左。陋裔49・153頁左）。

聯陸：（福建）福清に居す（陋裔48・151頁左）。

觀聚：（福建）水頭に遷る（陋裔49・153頁左）。

象陸：（福建）寧德霍童に居す（陋裔48・151頁右。陋裔49・153頁左。陋裔55・158頁左）。

鳴陸：（福建）白沙に遷る（陋裔49・153頁左）。

61

時用：（湖南）攸縣に遷る（「家譜一覽」湖南衡陽）。

添瑞：添福・添佑とともに（湖南）衡陽に居す（「家譜一覽」湖南衡南・衡陽、四川安岳。湖南衡陽は添瑞を始祖とする）。

爾璋：1420～1511年（顏鈞集 [1996] 102・117頁）。

德壽ら：（江西）永新、思州（貴州岑鞏）、永豐（江西永豐？）水東、廬陵（江西吉安）龍窟、湖北江陵、（廣東）廣州・惠州、水豐（江西永豐？）上方、羅方、（湖北）江陵油榨・江陵楚王冢・雲夢・麻城水田、（江西）值夏水北・建昌（永修）、湖南潭州（長沙）に移る（陋裔34・136頁右～137頁左）。

庭珍（庭禎？）：（湖南）沅陵城西四眼井に留まり、沅陵の始祖となる。子孫は金子坪顏家山・馬鞍溪・荔溪蛇冲口・大園水井頭・池頭・（湖南）激浦橋江對河劉家樞に分居す（陋裔39・140頁右。「家譜一覽」湖南沅陵・激浦）。

庭湖：湖南沅陵に遷る（顏普元 [1999] 160頁。「家譜一覽」湖南沅陵）。

庭珊：江西安福に移る（陋裔39・140頁右）。江西永新から湖南臨澧に移る（陋裔41・141頁左。「家譜一覽」湖南臨澧）。

庭琉：（湖南）湘潭塗田青塘に遷る。子孫が別れて河東・河西に分居する（「家譜一覽」湖南湘潭。顏普元 [1999] 160頁）。

丹：（廣東）陽江縣に遷る。陽春縣に遷る（陋裔62・164頁右）。

宗：正徳・嘉靖年間に（福建）永春縣五里街頭に住む（陋裔47・145頁左）。

宜靜：（福建）安溪に移る（陋裔52・155頁右）。

德諒：福建泉州府晉江縣に入る（總目0130。（廣東南海）『重修顏氏遷粵家譜』四卷）。

62

存誠：（江西）永新に移る（陋裔32・135頁右）。

文英：（江西）永新に移る（陋裔35・138頁右）。

應時：1458～1520年（顏鈞集 [1996] 103・117頁）。

五ら：（湖南）長沙、下流、楚、（湖北）江陵、下朗、（湖北）麻城に移る（陋裔34・137頁左）。

易天：湖南新化に遷る（顏普元 [1999] 160頁）。

重玉：（山東）郟城縣に居す（陋裔01・121頁左）。

天卿：萬曆年間に（福建）霞浦縣鄭翁洋に行き定居する（陋裔47・145頁左）。

大厦：嘉靖年間、（福建）南安で屯田を耕す（陋裔48・148頁右149頁左）。

一洙：浙江瑞安御度に居す（陋齋48・151頁右。陋齋49・153頁左）。

崇瓊：福建 港頭に廣がる（陋齋49・153頁左）。

惟韜：二子、廣東に遷る（陋齋52・156頁左）。

63

召仁：江西永新から湖南茶陵に移る（陋齋32・135頁左）。

芳庭：江西永新から涪溪（湖南祁陽）に移り、涪溪の初祖となる（陋齋32・135頁左右）。

欽：1496～1564年（顔鈞集 [1996] 103・117頁）。

鑄：1501～1587年（顔鈞集 [1996] 103・118頁）。

鈞：1504～1596年。明泰州學派の代表人物（顔鈞集 [1996] 104・117頁。陋齋33・136頁左。
「家譜一覽」江西永新）。

鐘：1507～1595年（顔鈞集 [1996] 104・118頁）。

閔ら：湖南 長沙、江西 南康、湖北 襄陽、江西 興國、陝西 烏龍鋪、江西 衣錦・湖廣に移る（陋齋34・137頁左）。

夢麟：「家譜一覽」湖南湘鄉）。

脫：永樂2年（1404年）、父の服、兄の朮に従って江西吉水 瀘源から湖南湘潭 碧泉鄉高山壩（墳）に遷る（「家譜一覽」湖南湘潭）。

無心（同初）：1297～1370年。1368年、息子7人を連れて江西永新 禾川 搗石から（湖南）攸縣 上雲橋に遷る。攸縣の開基。子孫は湖南攸縣 上雲橋など13の郷鎮、及び湖南衡東縣に散居する（「家譜一覽」湖南攸縣。顔普元 [1999] 107・160頁、陋齋36・139頁右）。

正心：湖南 衡陽の開基（「家譜一覽」湖南攸縣。顔普元 [1999] 160頁）。

本心：湖南 衡山の開基（「家譜一覽」湖南攸縣。顔普元 [1999] 160頁）。

應鳳：湖南 臨澧 顏氏の始祖（陋齋41・141頁右）。湖南安鄉に移る（「家譜一覽」湖南安鄉）。
湖南常德に移る（「家譜一覽」湖南常德）。

從楹：福建省に移り、その後人は廣東連平州に居す（陋齋01・121頁左）。

輝宗：福建 長泰に居す（陋齋48・151頁右。陋齋49・153頁右）。

崇褒：福建 南靖縣 上部萬仔金晚山に居す（陋齋48・151頁右。陋齋49・153頁右）。

茂莊：福建 南安に遷る。後裔は（福建）安溪に遷る（陋齋51・154頁右）。

64

鼎安：湖南湘潭に移る（陋齋32・135頁右）。

惠隆：湖南江背に移り、江背初祖となる（陋齋32・135頁右、陋齋35・138頁左）。

仁傑：洪武年間、江西梅州（江西蓮花）から湖南攸縣 南湫橋に移る（「家譜一覽」湖南攸縣。陋齋35・138頁左。陋齋36・140頁左。陋譜30・187頁左）。

彥圭：明永樂年間に、梅州（江西蓮花）から湖南攸縣に移り、再び江西萍鄉に移る（陋齋35・138頁左。「家譜一覽」湖南攸縣）。

蘭茂：江西梅州（蓮花）から湖南耒陽に移る（陋齋32・135頁右、陋齋35・138頁右）。

前峰：湖北栗溪に移る（陋齋33・136頁左）。

而恒：1538～？年。雲南通海縣に遷る（顔鈞集 [1996] 104・125頁。陋齋33・136頁左）。

而萃：1544～1616年（顔鈞集 [1996] 104・131頁）。

雲保ら：湖廣、浙江 長河、江西 衣錦、潭州（湖南長沙）に移る（陋齋34・137頁左）。

鶴：廣東從化に移る（陋齋61・163頁左）。

觀光：廣東順德に移る（陋裔61・163頁左）。
之寰：廣西南寧に移る（陋裔61・163頁左）。
鳳佳：（廣東）清遠縣に移る（陋裔61・163頁左）。
士賢：廣西に移る（陋裔61・163頁左）。
如楚：（湖南攸縣）上雲橋荷花形に居す（陋裔36・139頁右）。
如霖：湖南長沙に去る（陋裔36・139頁右）。
嗣卿：順天府（北京）守備を授かり、紅埠寺に居す（陋裔01・121頁左）。
文倫：明末清初、江西に移居す（陋裔47・145頁左）。
文二：浙江に移居す（陋裔47・145頁左）。
愈：（福建）福清縣に移居す（陋裔47・145頁左）。
元良：（福建）同安に居す（陋裔48・151頁右。陋裔49・153頁右）。
華俊：（福建）福州に居す（陋裔48・151頁右。陋裔49・153頁右）。
64□：（63の）その後は、（福建）…水頭・港頭…漳浦・南靖・福州・長樂・連江・古田・（寧德）霍童…龍岩・雲霄に廣がる（陋裔49・153頁右）。
創碣：（廣東）惠來縣隆江鎮に移る（陋裔58・161頁左）。
鉄：（福建）南靖縣上部萬仔金晩山に居す（陋裔48・152頁左）。
茂聰：福建永春から仙遊に遷る（陋裔53・157頁左右）。
儒：廣東惠來縣に遷る（陋裔52・156頁左）。
養達：子の一人、（福建）漳浦に居す（陋裔52・156頁左）。

65

子高：明初、（湖南）長沙へ移り、さらに（湖南）寧郷に移る（「家譜一覽」湖南寧郷は、64世孫とする。陋裔32・135頁右は孫が寧郷に移ったとする）。
處仰：湖南茶陵に移る（陋裔32・135頁右）。
乘虬：梅洲（江西蓮花）下五大房房祖となる（陋裔35・138頁右）。
瀧淵：子孫は湖南攸縣に廣がる（陋裔35・138頁左）。
信三：袁州（江西萍鄉）に移る（陋裔33・136頁左）。
行童：（湖南）湘潭廣林橋に遷る（「家譜一覽」湖南湘潭）。
佛ら：（湖北）襄陽、（江西）安福四都院里、（湖北）沔陽・景陵（天門）に移る（陋裔34・137頁左）。
文魁：湖廣黃州府（湖北）麻城縣孝感郷から四川保寧府鹽亭富驛顏家溝に住む（「家譜一覽」四川三臺）。
思邦：明の正統弘治間（1436～1505年）に湖南湘郷に居す（「家譜一覽」湖南湘郷）。
時魯：子の性高を率いて舟形屋場に移る（陋裔36・139頁右）。
興隆：（湖南）常德長嶺崗に移る（陋裔41・141頁右）。
興華：貴州に移る（陋裔41・142頁左）。
如杜：（北京）紅埠寺村に移る（陋裔01・121頁右）。
如萃：五寺莊に居す（陋裔01・121頁右）。
如梧：陝西邠州長武縣に葬られた（陋裔01・121頁右）。
嘉富：（廣東）陽春縣に遷る（陋裔62・164頁右）。
詔：（福建德化）上寮に住む（陋裔47・145頁左）。

添：江西に住む（陋齋47・145頁右）。
振晷：福建 閩清縣に住む（陋齋47・145頁右）。
日乾：福建 福州に遷る（陋齋48・151頁右）。
建溪：廣東 潮陽に居す（陋齋48・151頁右。陋齋49・153頁右）。
沁溪：廣東 潮陽縣に移る（陋齋48・151頁右。陋齋49・153頁右。陋齋58・161頁左）。
瀧溪：粵東（廣東）潮陽縣に居す（陋齋48・151頁右。陋齋49・153頁右。陋齋58・161頁左。陋齋62・164頁左）。
清：台灣に遷る（陋齋48・151頁右）。
仁居：63輝宗から仁居まで（福建）長泰に居す（陋齋49・153頁右）。
65□：華偉の二子、雲霄と（福建）漳浦に居す（陋齋49・153頁右）。
旦：龍溪縣青礁郷から福建 龍岩に移る（陋齋60・161頁右162頁左。陋齋62・164頁左）。
六娘：福建 漳浦に居す（陋齋52・156頁左）。
啓春：江西に遷る（陋齋52・156頁左）。
啓清：河南に遷る（陋齋52・156頁左）。

66

福壽：江西 永新から（湖南）湘潭 秋陂塘に遷る（「家譜一覽」湖南 湘潭、『顏氏續修族譜』二十卷附二卷）。
良：湖南 茶陵に移る（陋齋32・134頁左）。
薦ら：湖北 漢陽・沔陽、（山西）永和に移る（陋齋32・135頁左、陋齋34・137頁左）。
謙：湖南 桃源縣に移る（陋齋42・142頁右。陋齋44・143頁左）。
翁受：湖南 石門縣文廟の旁に移る（陋齋41・142頁左。陋齋43・142頁右）。
應鍊：清初、（福建）福寧府 寧德縣に住む（陋齋47・145頁右）。
材：福建 莆田縣に住む（陋齋47・145頁右）。
率：福建 連江縣に住む（陋齋47・145頁右）。
世老、世間：福建 福清に遷る（陋齋48・149頁右150頁左）。
世妹：江西に遷る（陋齋48・150頁左）。
光：福建 同安に遷る。（廣東）澳頭に廣がる。（陋齋49・153頁右）。
廷芝：福建 福州に遷る（陋齋49・153頁右）。
廷福：福建 同安に遷る（陋齋49・153頁右）。
奎：廣東 普寧に廣がる（陋齋49・153頁右）。
才藝：廣東 潮陽に廣がる（陋齋49・153頁右）。
汲：福建 龍岩 員嶺南門外に居す（陋齋48・151頁右。陋齋49・153頁右）。1630年廣東 連平縣に移る（陋齋58・161頁左）。
世庚：江西に遷る（陋齋52・156頁右）。
世都：福建 長泰に遷る（陋齋52・156頁右）。

67

?復魯：湖北 襄陽に移る（陋齋32・135頁右）。
?如松：湖南 茶陵に移る（陋齋32・135頁右）。
?如蘭：湖南 衡山に移る（陋齋32・135頁右）。
言愷：廣西に移る（陋齋32・135頁右）。

均欽：湖南耒陽から江西梅州（蓮花）に移る（陋齋35・138頁右）。
道二：1663年、廬陵（江西吉安）儒行郷培嶺に移る（陋齋33・136頁左）。
濤：湖南澧州（澧縣）祿鍾口に移る（陋齋32・135頁左、陋齋34・137頁左）。
彦蕃：廣東南海）唐夏から（廣東）從化縣顏村に遷る（陋齋62・164頁左）。
容舒：廣東）茂名から電白縣に遷る。南雄から番禺縣園下に遷る（陋齋62・164頁右）。
富清：康熙年間、浙江温州平陽縣に住む（陋齋47・145頁右）。
開清：乾隆年間、（福建）尤溪縣に住む（陋齋47・145頁右）。
微：乾隆年間、（福建）莆田縣に住む（陋齋47・145頁右）。
光浴：（福建）寧德縣に住む（陋齋47・145頁右）。
德税：臺灣に移る（陋齋47・145頁右）。
士熾：浙江温州に移住する（陋齋48・150頁左）。
67□：66清の裔孫、多く台灣に遷る（陋齋49・153頁右）。
佛・起：ともに臺灣に往く（陋齋52・156頁左）。
提ら：ともに臺灣に往く（陋齋52・156頁左）。
衷：（福建）漳州に住む（陋齋52・156頁右）。
英ら：臺灣に遷る（陋齋52・156頁右）。

68

惟琢：湖南永州へ移る（陋齋32・135頁右）。
彦恢：湖南茶陵に移る（陋齋32・135頁右）。
錫槐：江西）東郷官百に移る（陋齋33・136頁左）。
祿：湖南）湘潭楓樹衝に遷る（「家譜一覽」湖南湘潭）。
茂似：廣東）信宜縣に遷る（陋齋62・164頁右）。
榜：（福建）尤溪縣にすむ（陋齋47・145頁右）。
振源：乾嘉年間、（福建）福州に住む（陋齋47・145頁右）。
茂極：（福建）寧德縣に住む（陋齋47・145頁右）。
茂棟：浙江省温州市平陽縣に住む（陋齋47・145頁右）。
茂殿：乾嘉年間、（福建）建寧府に行く（陋齋47・145頁右）。
徒：浙江に住む（陋齋47・145頁右）。
授怡ら：雍正・乾隆年間、（福建）寧德縣に住む（陋齋47・146頁右）。
廷濫・廷若：浙江省温州に遷居する（陋齋48・149頁左）。
明達・瑞鵬：廣東）海豐縣に遷る（陋齋62・164頁左）。

69

子宮：明嘉靖年間、江西永新から（湖南）沅陵縣麻溪保赤巖灣に移る。故に沅陵の初祖となる。その後裔は、（湖南）激浦・永順・桃源・齊家坪、および四川・陝西などの地に分居す（陋齋39・140頁右）。
永豹：湖南）永州祁陽三十七都黃草塘上河坪に移る（「家譜一覽」四川三臺）。
光煜：浙江省温州市平陽縣に行く（陋齋47・145頁右）。
秀富：乾隆年間、（福建）寧德縣に住む（陋齋47・145頁右）。
光炳：嘉慶・道光年間、臺灣に遷る（陋齋47・145頁右）。
起棟：（福建）尤溪縣に住む（陋齋47・145頁右）。

玉璽：(福建) 閩清縣に住む (陋裔47・145頁右)。
玉登：咸豐年間、臺灣淡水縣に遷り住む (陋裔47・145頁右)。
文厚：(廣東) 連平縣城内に居す (陋裔60・162頁左。陋裔62・164頁左)。
宗顯：孫の71文進ら (廣東) 海豐に入る (陋裔58・158頁左右159頁160左右。陋裔59・161頁左。陋裔62・164頁左)。
輪建ら：臺灣に住む (陋裔52・156頁右)。

70

珊生：嘉靖2 (1523) 年、江西吉州蓮花梅州から江西袁州萍郷に移る (陋裔35・138頁右)。
振綬：雲南に没し、永昌府 (雲南保山) に葬られた (陋裔33・136頁左)。
梧：湖北沔陽樹子灣に移る (陋裔32・134頁左)。
世賢：湖南寶慶府邵陽縣から四川安縣寶林鎮に移る (「家譜一覽」四川三臺)。
明春：明清の際に、(湖南) 寧郷田心に残り、明德らは寧郷田心から九都井衝大桃源・楊梅塘・簞子衝に移る (「家譜一覽」湖南寧郷)。
汝儒ら：(湖南) 臨澧縣から湖南常德に移る (陋裔42・142頁右)。
成貴：(廣東) 新寧 (臺山) から恩平縣に遷る。南雄から茂名に遷る (陋裔62・164頁左右)。
克塽：乾隆年間、臺灣に遷る (陋裔47・146頁左)。
登炮ら：道光・咸豐・同治年間、(福建) 尤溪縣に住む (陋裔47・146頁左)。
兩成：清末、(福建) 永安縣に住む (陋裔47・146頁左)。
青山：(福建) 閩清に住む (陋裔47・146頁左)。
孝良、良華：(福建) 莆田に住む (陋裔47・146頁左右)。
賓佐：民國年間、(福建) 仙游縣に住む (陋裔47・146頁右)。
祊融、興海ら：清末、マレーシアに住む (陋裔47・147頁左右)。
振南：浙江安海底に居す (陋裔48・151頁右)。
臺輔：後裔は福建漳平に移る (陋裔51・154頁右)。
春富：(福建) 平和縣から廣東海豐縣に遷る (陋裔58・158頁右)。
元郎：(福建) 楓亭に遷る (陋裔53・157頁右)。

71

廷睿：廣州西關に遷る (陋裔62・164頁左)。
廷昇：(廣東) 惠來縣に遷る (陋裔62・164頁左)。
廷濬：明末に廣東に遷る (總目0130。(廣東南海)『重修顏氏遷粵家譜』四卷)。

72

興發：湖廣 (湖南) 寶慶府邵陽縣から四川安縣秀水鎮に入る (「家譜一覽」四川三臺)。
啓宗：前後して相陽烏鴉河に移る (陋裔41・142頁左)。

73

伏文：江西安福から江西萍郷へ移る (陋裔35・138頁左)。
仁禮：四川三臺に移る (「家譜一覽」四川三臺)。
登聯：湖廣寶慶 (湖南邵陽) から四川三臺に移る (「家譜一覽」四川三臺)。
振耀：福建龍岩から (廣東) 連平に遷る (陋裔60・162頁左)。

74

明紀：1706年に湖南湘鄉縣安邑豐樂鄉から四川達縣萬家郷に入る（「家譜一覽」四川三臺）。
崇亮父子兄弟：四川重慶、湖南桑植・西山、四川大寧、湖北監利・澧州・沙市に移る（陋裔41・142頁左）。

75

文秀：湖南長沙府湘譚から四川綿陽游仙區に入る（「家譜一覽」四川三臺）。
大柏：湖廣（湖北）麻城縣孝感郷十二村土地洞から四川省三臺縣翌火郷に移る（「家譜一覽」四川三臺）。
崇雲：桃源縣に移る（陋裔41・142頁左）。

76

宗訓ら：陝西八仙河、湖北監利・宣恩（恩？）・咸豐・當陽に移る（陋裔41・142頁左）。

80

思端・思正：顔眞卿のどのの子の子孫かは不明だが、顔眞卿の四十一世孫で、（浙江省湖州）安吉の人（『顔文忠魯公文蹟』巻首。宮崎洋一 [2018]）。

？（世代不明）

正現：一族が湖南宜章栗源長田に住む（「家譜一覽」湖南宜章）。

榮欽：始遷祖。一族は湖南武岡市龍田郷に住む（「家譜一覽」湖南武岡・邵陽）。

諳：字は兆和。始遷祖。咸淳年間（1265～74年）の人（「家譜一覽」湖南邵東）。

象：（「家譜一覽」湖南麻陽）。

念東：（「家譜一覽」湖南婁底）。

武基：子孫が湖南臨武・宜章・新田に居す（「家譜一覽」湖南）。

似賢：北宋の仁宗（位1022～1063年）の時、任官（『續資治通鑑長編』巻173、皇祐四年十二月乙未條）。

邵・師與・卓：（浙江）温州に居す。50彦輝と同時期。1135年、官を授かる（石田肇 [1991]）。

伯璋：1353～1402年。廬陵（江西吉安）の人（『明史』巻142）。

付表2 顏眞卿後裔分布表

凡例

- (1) 本表は、付表1「顏眞卿後裔略傳一覽」で整理した顏眞卿の子孫の居住地を、世代ごとに整理したものである。
- (2) 付表1で記載した現在の省・市縣の地名により、地名は畫數順とした。
- (3) 住んだ記載のある世代に「○」を付し、特に、その地に初めて住んだ世代に「◎」を付した。
- (4) 70代以降は世代の數を書き、初めて住んだ場合は、その數字を太字とした。
- (5) 41～45代を唐・五代、45～59代を宋・元、60代以降を明・清の子孫と假定して、實線で分けた。

省	市縣	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
山西	?																			◎											
山西	永和																				◎						○				
山東	平原						◎																								
山東	沂南											◎																			
山東	鄒城																						◎								
山東	「魯南」				◎																										
山東	臨沂				◎						○										○										
北京	?																		◎						○	○					
四川	?																			◎										○	
四川	三臺																													73	
四川	大寧																													75	
四川	安縣																													◎	
四川	達縣																													74	
四川	綿陽																													75	
四川	鹽亭																										◎				
安徽	水東																		◎												
安徽	靈璧											◎									○	○									
江西	?					◎																			○	○	○				
江西	永修																						○								
江西	永新			◎	◎	◎	◎								◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎			◎				◎	
江西	安西					◎																									
江西	安福															◎						◎				◎				73	
江西	吉水				◎	◎	◎	◎			◎										◎				◎						
江西	吉安			◎	◎		◎															◎	◎					◎			
江西	衣錦																							◎	◎						
江西	沙田							◎																							
江西	東固																					◎									
江西	東鄉																												◎		
江西	南康																			◎					◎						
江西	值夏																					◎									
江西	泰和																			◎	◎										
江西	萍鄉																◎								◎	◎				◎	
江西	資溪						◎																								
江西	蓮花															◎								◎	◎		◎			◎	
江西	興國																							◎							
江蘇	句容									◎																					
江蘇	南京		◎			◎		◎															◎								
江蘇	徐州																						◎								
江蘇	溧陽									◎																					
河南	?					◎																					◎				
河南	温縣	◎																													
河南	漢川																										◎				
重慶	?																													75	
浙江	?																								◎				◎	◎	
浙江	平陽																											◎	◎	◎	
浙江	長河																								◎						
浙江	常山	◎																													
浙江	瑞安																						◎								
浙江	湖州											◎																		80	

廣東	茂名								◎	○												○
廣東	英德													◎								
廣東	海豐																		◎			○
廣東	恩平																					◎
廣東	清遠								◎										○			
廣東	從化																			○		
廣東	連平																		◎			
廣東	惠州														◎	○						○ 73
廣東	惠來																		◎			
廣東	普寧																			◎		71
廣東	番禺									◎		○										
廣東	新會								◎			○										
廣東	陽江											◎	○	○								
廣東	陽春											◎	○							○		
廣東	順德											◎								○		
廣東	廣州												◎	○	○							71
廣東	電白													◎								
廣東	臺山														◎							○
廣東	潮州													◎								
廣東	潮陽																		○	○		
廣東	澳頭																				◎	
廣東	興寧																			◎		
香港澳門																				◎		
臺灣	?																			○	○	○
臺灣	淡水																					◎
マレーシア																						◎